

令和元年度東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会
作業技術研究会 開催要領

東北農業試験研究推進会議作物生産推進部会長
農研機構東北農業研究センター
水田作研究領域長（部会長） 石井卓朗
生産基盤研究領域長（副部会長） 中山壮一

1. 趣旨

東北農業試験研究推進会議運営要領に基づき、東北地域農業に係わる作業技術分野の試験研究を適切かつ円滑に推進するため、農研機構東北農業研究センター及び公設試験研究機関等の関係者が参集し、現場段階での技術的課題等について議論するとともに、当該分野が重点的に取り組むべき研究開発とその推進方向について検討する。

最近になって想定以上の豪雨や長雨または干ばつにより、農業生産にさまざまな影響が出ている。そこで、東北地域における気候変動への適応技術について検討するため、作業技術や施設工学、農村工学分野での対応について講演者から情報提供を得て、本年度の重点検討事項「東北地域における気候変動への適応技術の現状と課題」について議論する。

2. 開催日時 令和2年1月28日(火) 13:20 ～ 1月29日(水) 12:00

3. 開催場所 アイーナ（いわて県民情報交流センター）研修室 501
岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号

4. 議題・内容

1月28日 13:20～17:15

1) 開会・挨拶

2) 重点検討事項「東北地域における気候変動への適応技術の現状と課題」
話題提供

(1) 麦・大豆栽培の気候変動に対応した作業技術的な適応技術

農研機構中央農業研究センター水田利用研究領域北陸輪作体系グループ 関 正裕 氏

(2) 水稻の冠水被害特性を考慮した低平農地域の豪雨リスク評価

農研機構農村工学研究部門地域資源工学研究領域水文水資源ユニット 皆川 裕樹 氏

(3) 気候変動に伴う温室の被災事例と温室の耐雪・耐風構造（仮題）

農研機構農村工学研究部門農地基盤工学研究領域農業施設ユニット 森山 英樹 氏

(4) 各県及び東北農研からの話題提供

(5) 総合討論

1月29日 9:10～12:00

3) 研究成果情報の検討・確認

4) 「最新農業技術・品種2021」候補の選定

5) 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討

6) 令和2年度作業技術研究会(夏期)についての意見交換

7) 閉会

5. 参集範囲 国立研究開発法人および公設試験研究機関、試験研究を担う地方独立行政法人、東北農政局、県行政・普及部局、大学、その他部会長が必要と認めた者

6. 事務局・連絡先等

〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4

農研機構東北農業研究センター生産基盤研究領域 作業技術グループ長 長坂善禎

TEL:019-643-3535 FAX:019-641-7794 E-mail:zentei@affrc.go.jp